

5. 材料システム工学科

<p>ディプロマ ポリシー</p>	<p>材料システム工学科は、ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまで材料に関する一連の専門知識を身につけるとともに広い視野と豊かな心を備えて、社会の発展に貢献できる自立の精神に富んだ実践的、創造的材料技術者を育成することを目指しています。そのため以下のような能力を身につけ所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料システム工学に必要な金属材料、セラミックス材料および高分子材料に関する構造、性質、機能、製造プロセス、加工、リサイクル技術および関連した周辺技術、設計、解析、評価に関する基礎的な知識や技術を修得し、それらの課題を解決するために活用できる。 2. 自ら学び工夫するとともに、他者と協力して課題の解決に積極的に行動できる。 3. 環境に配慮しながら技術者倫理に沿って自律的に判断し、行動できる。 4. 広い視野と豊かな心を備えて社会に貢献できる。
<p>カリキュラム ポリシー</p>	<p>材料システム工学科は、ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまで材料に関する一連の専門知識を身につけるとともに広い視野と豊かな心を備えて、社会の発展に貢献できる自立の精神に富んだ実践的、創造的材料技術者を育成することを目指しています。そのため以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 低学年では、数学、物理、化学などの工学の基礎科目、コミュニケーション能力の基礎となる国語、英語、および一般教養の基礎となる社会科科目を多く配置し、高学年に進むに従い工業材料に関する専門科目が多くなるくさび形の授業科目を編成することで、広い視野と豊かな心を育み、社会に貢献する姿勢を養います。 2. 低学年より実験・実習を設定して技術の実際に触れることで技術への理解を促すとともに、高学年ではインターンシップや卒業研究によりエンジニアリング・スピリットを体得した専門技術者としての能力を養成します。 3. 金属材料、セラミックス材料および高分子材料に関する材料工学の専門知識および技術が効果的に身につくよう専門科目を編成します。 4. 各科目の単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが、実験・実習科目などレポートによって認定するものもあります。認定の基準はいずれも評価点 60 点以上とします。
<p>アドミッション ポリシー</p>	<p>「求める学生像」 材料システム工学科は、ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまで材料に関する一連の専門知識を身につけるとともに広い視野と豊かな心を備えて、社会の発展に貢献できる自立の精神に富んだ実践的、創造的材料技術者を育成することを目指しています。そのため次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料技術者になる意欲を持っている人 2. 理数系の基礎学力が身に付いている人 3. 自立心があり、社会的ルールを守って行動できる人 4. 他の人と対話を通して相互理解を深めようとする人 <p>「入学者選抜の基本方針」 第一学年への入学者の選抜は、推薦による選抜及び学力検査による選抜により行う。</p> <p>◇ 推薦による選抜 調査書、推薦書、推薦選抜志願調書、適正検査（数学）の成績及び面接の評価を総合して行う。</p> <p>◇ 学力検査による選抜 調査書及び学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会）の成績を総合して行う。</p> <p>第三学年への外国人留学生の編入学者の選抜は、高専機構が実施する選抜試験により行う。</p> <p>◇ 高専機構による選抜 出願書類、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC 又は IELTS の成績及び面接の評価を総合して行う。</p> <p>第四学年への編入学者の選抜は学力検査による選抜により行う。</p> <p>◇ 学力検査による選抜 調査書及び学力検査（数学、英語及び理科）の成績を総合して行う。</p>